

CNニュース10月号 乳がん看護編

乳がんの手術をした方の腕で点滴をしてはいけないのはなぜ?? 採血や血圧測定はいいの??



乳がんの手術は、乳がんが転移しやすいといわれる腋窩リンパ節の手術も同時に行います。腋窩リンパ節郭清術や、転移の有無を調べるセンチネルリンパ節生検術の術後合併症に、患側上肢のリンパ浮腫があります。上肢リンパ浮腫の予防対策として、これまで慣習的に採血・血圧測定・点滴といった処置を禁止してきました。

最新の「リンパ浮腫診療ガイドライン」や、「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」では採血・血圧測定は実施して構わない、点滴は漏れた際の症状悪化が懸念されると記載されており、令和6年11月より当院での指導内容を以下の通りに変更しました。



**患肢での採血・血圧測定は術前後に関わらず可
患肢での点滴は術前は可・術後は術式に関わらず不可**

～よくあるQ&A～

Q.1

両側の手術をしています。
点滴はどうしたらいいですか？

A.1

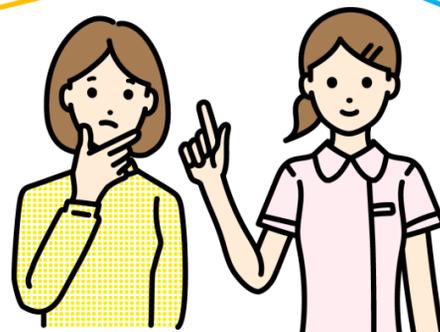
両側の手術の既往がある場合は
下肢で点滴を行っています。

Q.2

今まで採血も血圧測定も避けるよ
うにしてきたのに、しても良いと言わ
れても不安です。

A.2

最新のガイドラインでは問題ないといわれ
ていることを伝えますが、このように不安な
方もおられます。
また、他施設で乳がん治療を受けられて
いる方は当院と説明内容が異なる場合
もあります。
これまで通り、患肢での採血や血圧測定
を避けたいという場合は、患者の希望を
尊重した対応で構わないと考えます。



Q.3

急変対応時に患肢で点滴をして
いました。どうしたらいいでしょうか。

A.3

急変時はやむを得ない状況のため、必要
な処置を優先してください。
血管外漏出に注意し観察を行いましょう。

乳がんの術後、リンパ浮腫には生涯気をつける必要があります。乳がん患者さんは長期サバイバーも多く、リンパ浮腫に対して不安を抱えておられます。リンパ浮腫や予防対策についてわからないことがあるときや、患者さんが新しい指導内容に不安をしめされたときは、乳がん看護認定看護師までご相談ください。